

## 防災におけるICT利活用 (雨量観測機器設置事業)

- IoT雨量観測クラウドサービス「どこでも簡測」による山上の雨量データを観測する仕組み。
- 山間部での急激な雨量情報を把握できず、大量の雨水が中心街まで到達してからでない防災情報を提供できないことへの対策として実施。

### 事業内容

- ✓ 天候が変わりやすい山の上の雨量データを観測するため、村営キャンプ場に、組み立て可能な雨量観測所によるIoT雨量観測サービス「どこでも簡測」を導入。
- ✓ ソーラーパネル及びバッテリー搭載の雨量観測所。クラウドサービスのためサーバーのメンテナンスが不要。専用Webサイトにアクセスすれば、10分ごとの雨量データが確認可能。しきい値に達するとアラートメールを配信。

### 成果・効果

- ✓ いつでもどこでも山の上の雨量データをタイムリーに取得でき、**的確なタイミングで防災情報を提供できるようになった。**
- ✓ 「どこでも簡測」は電源も工事も不要。自分たちの手で60分ほどで簡単に組み立てられ、**観測を素早くスタートできた。**
- ✓ クラウドを通じて役場やスキー場の運営会社、キャンプ場、消防署とも**容易にデータ共有でき、連携して防災管理を行えるようになった。**

導入システムの概略図

